

平成29年度第3回社会教育委員会議抄録

日 時：平成29年7月13日（木） 13時30分～14時30分

場 所： 西宮市教育委員会 3階 大会議室

〔出席委員〕

伊 藤 篤	羽 田 英 彦
中 野 睦 子	高 瀬 秀 紀
東 久 仁 夫	森 郁 子
工 藤 好 彦	西 本 望
佐 藤 智 子	小 林 節 子

〔行政出席者〕

山本 教育次長	上田 社会教育部長
大和 学校教育部長	中島 社会教育課長
中尾 放課後事業課長	合田 文化財課長
井上 中央公民館長	中西 北口図書館長
牧山 青少年育成課長	石飛 青少年補導課長
坂井 社会教育課係長	酒井 社会教育課係長
谷池 社会教育課主事	

署名委員

\_\_\_\_\_ (印)

\_\_\_\_\_ (印)

平成29年度 第3回社会教育委員会議抄録

議長	<p>定刻になりましたので、ただ今より平成29年度第3回社会教育委員会議を開会させていただきます。</p> <p>本日は、会議終了後に、委員のみで答申書の「第5章の2 具体的な方策」について、答申の提言につながる部分のグループ討議を予定していますので、速やかな議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の出席者は10名です。本日の傍聴はありますか。</p>
事務局	<p>ございません。</p>
議長	<p>それでは、議事次第に従いまして協議に移ります。</p> <p>議案第1号「社会教育委員の委嘱について」です。</p> <p>事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>5月の西宮市青少年愛護協議会の総会の役員選出交代により、森郁子委員を6月15日付けで社会教育委員として委嘱いたしました。森委員は、長年に渡り青少年愛護協議会でご活躍いただいております。また、第31・32期の社会教育委員としてもご活躍され、第32期では副議長を務めていただきました。昨年、この会議で、公民館推進員活動の説明もしていただきました。</p> <p>お手元に、新しい委員名簿をお配りしております。</p>
委員	<p>それでは、森委員より、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>こんにちは。ただいまご紹介いただきました、青少年愛護協議会からまいりました森と申します。よろしく願いいたします。先ほど社会教育課長からもご紹介いただきましたが、これまで2期社会教育委員の経験もさせていただいたこともあります。これから社会教育委員の皆様の中に入れていただくということで少し不安もありますが、私なりに地域での経験を活かして、一緒に勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議案第2号「答申書（案）について」に移りたいと思っております。</p> <p>前回、答申書の骨子案について、提示をいたしました。今回の答申書案では、前回から少し整理をしております。</p> <p>まず、主に整理した箇所のみお伝えいたします。</p> <p>（P.16）第5章の1で、「本市が取り組むべき今後の方向性」のところ、第4章のヒアリング事例から分かったこととの対応付けができるよう、（1）～（3）として整理をしました。</p> <p>次に、（P.17）第5章の2の「具体的な方策」として、（1）場づくり、（2）コーディネート機能、（3）しくみ、（4）啓発や学習に関する情報戦略の4つであるというご意見でした。その4つの方策については、第5章の1「本市が取り組むべき今後の方向性」ではなく、第5章の2「具体的な方策」に入れた方がよいのではという意見がありましたので、そのように整理しております。</p> <p>この会議終了後のグループ討議では、第5章の部分を中心に討議します。事前に目を通されたと思いますが、第1～4章で何かお気づきの点やご意見などがございましたらお願いいたします。</p> <p>特に第4章の「事例研究」で、成功事例として特記すべきことがぬけてはないでしょうか。</p> <p>「資料編」については、今回配布をさせていただいております。本日はお時間がございませんので、各自でご確認をいただきますようお願いいたします。</p>

委員	す。
議長	第1章(2)に地域のイベントに参加しない理由として「あの人がいるから行きたくない」という表現がありますが、直接的すぎるのではないのでしょうか。「人付き合いが苦手」「人間関係に不安がある」などももう少しやわらかい表現にした方がよいのではないかと思います。
委員	ありがとうございます。ではそのように変えさせていただきます。
議長	第1章(1)に少子高齢化や核家族化の進行とありますが、これは過去の話で、西宮市では80年代から進行はしておらずほぼ常態化していますのでこの表現は違うのではないかと思います。
委員	最近私は「3世代世帯の減少」と書くようにしています。割合だけで言うと、1番初めの国勢調査のデータからほとんど変化はありません。数は増えていますが、単独世帯も増えているので、全体の割合はほぼ横ばいになっています。
議長	第4章の「あーち」「新あーち」についての記述で、学部名が出てきますが、学部名が変わっているので、いつのことを書くかによって学部の名前に気をつけなければいけないと思います。
委員	正式には地域研究科が行っています。研究科の名前は変わっていないので、それで書き直したいと思います。
事務局	第4章の公民館活動について、全国的に公民館は減少傾向だが、西宮はどのようなのでしょうか。そういったものが資料としてあると分かりやすいのではないのでしょうか。
委員	公民館は減っておりません。例えば第1章に公民館の現状として入れるということでもよろしいでしょうか。
委員	全国的に減少傾向にある中で、西宮市では維持しているということを強調すればよいのではないのでしょうか。
事務局	利用人数はどうなののでしょうか。それも資料として示してはどうかと思います。
議長	データや資料として取り入れることを検討したいと思います。事例の部分は上手くいっている事例を挙げているので、委員がおっしゃったように、全国的には減少している中で西宮市は維持しているというポジティブな面を書いておきたいと思います。データについてはまた検討したいと思います。
委員	3章が極端に少ないのでバランスが悪いように思います。最終的には章立てのバランスを調整したいと思います。もう1つは、表や図に図表番号、参照番号をつける必要があるかと思います。
委員	第3章について、現在は各自治会で会議を行っていますが、横のつながりを作っていける場が必要ですので、それについても記述をお願いしたいです。
議長	提言に入れるとよいのかもしれません。この後のグループ討議の方で詳しく話し合っていただければと思います。
委員	それでは、委員から「西宮市の公民館推進員活動の実態」についての説明をいただきたいと思います。
委員	はい。今回資料としてお出ししているのは平成28年度の調査についてまとめたものです。
	苦労・負担として、受講者集めや講座の企画、講師との調整などを負担に感じている方が多いことが分かります。平成27年度と比較しますと、苦労・負担については「とてもそう思う」「そう思う」の割合が少し減っています。楽しさ・やりがいについて、平成27年度は「自分自身の知識や経験が増え

	<p>る」という意見が1番多かったのに対し、平成28年度は「他の推進員と協力して活動できることが楽しい」「推進員活動を通して、地域を知り、地域とつながりを持つ事ができている」と感じている方が多くなっています。楽しさ・やりがいについては、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方が昨年度に比べて少し増えています。</p> <p>繰り返しになりますが、参加者集めに苦労・負担に感じている方が多いことから、参加者を集めるというところにもっとサポートをする必要があると思います。また、人とのつながりに楽しさ・やりがいを感じるという方が多いことから、良好な人間関係の中で活動していただくことが大事だと考えます。</p> <p>推進員の活動に満足している方は割合として多いですが、満足できていない人が3割います。その要因について、もう少し掘り下げて考える必要があると思います。また、十分に地域に貢献できている、役割を果たせていると感じられていない人が2割近くいます。これについては、研修などを通してサポートする必要があると思いますし、十分にできているにもかかわらず本人はできていないと感じていることもあるかもしれませんので、ポジティブに評価する仕組みが必要かと思えます。</p> <p>地域活動の関係というところでは、連携してよかった団体として、PTA、青少年愛護協議会、老人会を挙げている方が多く、一方でもっと連携すべきと考えているのは、PTA、社会福祉協議会、青少年愛護協議会、公民館グループを挙げている方が多いです。同じ公民館で活動しているのに、公民館グループで連携できていないのは、もったいないのではないかと思います。今後としては、大学と連携したいという意見が多かったです。</p> <p>最後に、推進員活動の充実に必要なことをお聞きしました。その中で、推進員活動の市民の認知度の向上を課題に感じている意見がかなりありました。あとは、公民館職員の方からのサポートを期待してらっしゃる方が多くいました。他にもパソコンの操作などの技術的な支援が必要と感じている方も多かったです。推進員を増やす、開講講座を減らすといった負担軽減についてはあまり重要視されておらず、それよりもスキルアップのサポートを必要としているように感じました。以上です。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>ありがとうございました。何かご質問はございますか。</p> <p>補足ですが、推進員は2年ごとに交代します。平成27年度平成28年度は基本的に同じ人なので、活動しているうちに連帯感が生まれたり、意義が分かかってきたりというところはあると思います。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>答申案では平成27年度のデータが入っていますが、平成28年度のデータも入れますか。</p> <p>最新の平成28年度のデータを出すべきかと思いますが、経年変化を見る必要はないのではないかと思います。少なくとも平成28年度は入れたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>続きまして、報告事項第1号の「兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会の報告」に移りたいと思います。</p> <p>当日の総会・研修会の資料をお手元にお配りしております。7月5日（水）に神戸三宮で行われました。「兵庫県社会教育委員協議会」の総会・研修会には、副議長、委員2名、私、事務局3名が出席いたしました。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。</p> <p>総会について、事務局よりお願いいたします。</p>

事務局	<p>総会では、兵庫県社会教育委員等への表彰式がございました。本市からは、羽田副議長と川本委員が受賞されました。この表彰は、社会教育の推進に貢献、又は兵庫県社会教育委員協議会の発展に顕著な功績のあった社会教育委員及び関係職員を表彰し、もって社会教育の振興に寄与することを目的としています。</p> <p>お2人は、この表彰の規程の中の「7年以上社会教育委員として在任され、その功績が顕著である者」として、受賞されました。兵庫県では今年を受賞者は20名おられ、受賞者を代表して羽田副議長がご挨拶を述べられました。</p>
<p>全員 議長 副議長</p>	<p>おめでとうございます。 (拍手)</p> <p>羽田副議長より、簡単に一言お願いいたします。 この度、県から表彰をいただきまして光栄に思っております。社会教育委員として何かお役に立っているのか不安に感じておりましたが、こういった表彰を受け、安堵したところでもあります。これも皆様のご支援のおかげと感じております。今後も努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>ありがとうございました。それでは、研修会についての報告を、簡単に事務局にお願いしたいと思います。</p> <p>当日は講演会がございましたので、その資料をお配りしております。東京大学大学院教育学研究科の牧野篤先生にご講演をいただきました。千葉県で社会教育委員としても活動されているということで、実践的なお話を聞くことができました。例えば多世代交流型のまちづくりのお話がありました。現在高齢化が進み担い手がないという問題がありますが、それは地域に貢献できる人が増えてきているということでもあります。少ない子供たちを手厚く見てあげられるということで、それをその地域では「タマゴ」プロジェクトと呼んでいます。自分に子供がいなくても、子供が遠くに住んでいても、よその子を自分の子や孫として見守るという考え方です。確かに次世代育成という話はよく出ますが、高齢者ももっと楽しめるような地域を作っていくことも大事だということをお話いただきました。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に、報告等はございませんでしょうか。 宝塚市から「公民館と指定管理者制度のあり方」という意見書が届いておりますので簡単に説明させていただきます。 2015年に市長から諮問がありまして、「市民が学習成果を生かし合う地域社会作りのための社会教育施設（公民館・図書館）のあり方について」答申をしました。 それまで直営を前提として答申を作ったのですが、指定管理制度を導入した場合について改めて議論し、意見書として出したということです。</p>
議長	<p>他に、ご意見がないようでしたら、本日の議事は終了させていただきます。次回の会議では、この後のグループ討議で出た意見を整理し、答申書の提言につなげ、各章ごとに確認をしていきたいと思っております。 それでは、これをもちまして社会教育委員会会議を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>